



世界最大規模の日本語試験「日本語能力試験（JLPT）」

2018年の年間受験応募者は116万8016人

～東南・南アジアの伸び顕著、海外での応募者増で対前年比14%増～

国際交流基金が実施する、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し、認定する世界最大規模の日本語試験「日本語能力試験（JLPT）」の2018年の受験応募者は、116万8016人となりました。

本試験は、国際交流基金と日本国際教育支援協会の2団体が共催し、1984年から実施しています。年に2回実施され、第2回の試験は、海外76の国・地域、日本国内47都道府県で12月2日に行います。

年間受験応募者数が前年比で14%増加した背景として、特に海外における顕著な伸びがみられます。最大規模の試験実施国である中国、韓国をはじめ東アジア地域で引き続き堅調に増加（8%増加）、東南アジアや南アジアで著しく増加（東南アジアが14%、南アジアが47%増加）しており、各地域における日本語学習への関心の高さがうかがえます。また、日本語能力試験の受験目的は、実力測定から、就職、昇給・昇格、留学などの資格認定としての活用に広がりを見せています。

記

2018年度 日本語能力試験 概要

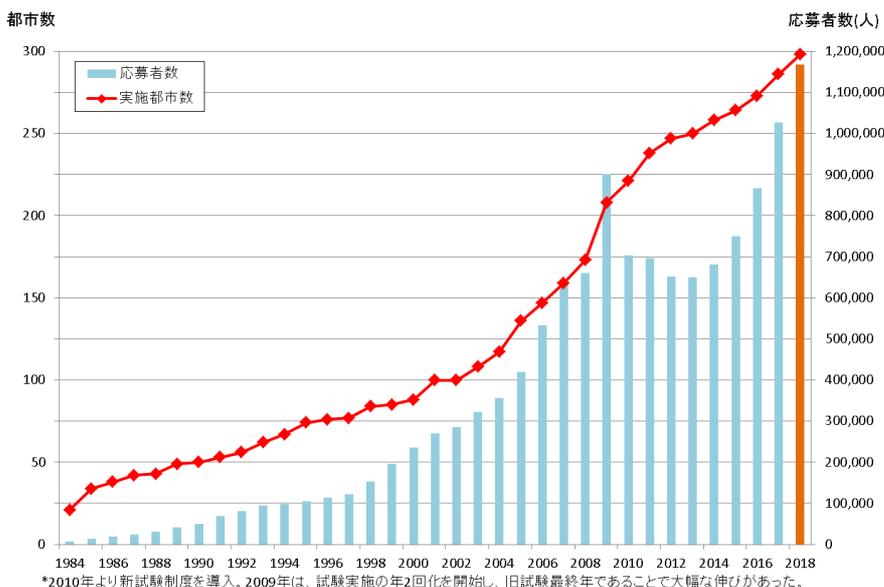
実施日：第1回 2018年7月1日 第2回 2018年12月2日

受験応募者数（年間）：1,168,016人（海外約7,72,000人／日本国内約396,000人）対前年度比 14%増
 （第1回試験分）約544,000人（海外約361,000人／日本国内約183,000人）同17%増
 （第2回試験分）約624,000人（海外約411,000人／日本国内約213,000人）同11%増

※国際交流基金が海外実施を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内実施を担う。

実施国・地域、都市数（年間）：海外 85 の国・地域、249 都市、日本国内 47 都道府県、国内外計 296 都市
 海外受験応募者数上位国・地域（年間）：中国、韓国、台湾

海外受験応募者数上位エリア（年間）：東アジア、東南アジア、南アジア



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）
 Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044
 E-mail: press@jpf.go.jp



国際交流基金の事業の一つが日本語教育です。「日本語能力試験」は、国際交流基金が試験問題を作成し、海外での試験を実施する。担当している点！

海外受験応募者数上位国・地域（2018年の第1回と第2回の合計）

上位3か国・地域は、中国、韓国、台湾。その他の国・地域では、ミャンマー、インド、インドネシア等の増加が顕著。

	国・地域	応募者数(人)	前年比増加率
受験応募者数上位3か国・地域	1位 中国※	290,951	9%
	2位 韓国	104,553	14%
	3位 台湾	84,098	-2%
受験応募者数上位3エリア	1位 東アジア	482,271	8%
	2位 東南アジア	204,782	14%
	3位 南アジア	42,232	46%
増加率の顕著な国・地域	ミャンマー	37,786	72%
	インド	27,199	30%
	インドネシア	14,084	29%

※香港・マカオを含む。

2018年第2回（12月）日本語能力試験の概要

実施日：2018年12月2日（日）

実施都市：海外76の国・地域、232都市、日本国内47都道府県

実施レベル：N1～N5の5レベル（N1が最も難易度の高いレベル）

※レベル毎の認定（合格）の目安および詳細は、ウェブサイト（<https://www.jlpt.jp/>）をご覧ください。

海外受験応募者数上位国・地域：上位3か国・地域は、中国、韓国、台湾。

その他の国・地域では、インド、ミャンマー、ネパール等の増加が顕著。

試験結果の活用例

- ・「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」でのポイント付与
2017年4月より、N1に加え、N2がポイント付与の対象になりました。N1合格者は15点、N2合格者は10点が付与され、合計70点以上の場合に、出入国管理上の優遇措置が与えられます。
- ・EPA（経済連携協定）に基づく看護師・介護福祉士候補者選定の条件
インドネシア、フィリピンではN5程度、ベトナムではN3以上の認定が条件とされています。
- ・在留資格「留学」の日本語能力要件
N5相当とされています。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



KUMAKURA

国際交流基金の事業の大きな柱の一つが日本語教育です。「日本語能力試験」は、国際交流基金が試験問題を作成し、海外での試験実施を担当している。最新の速報は、特に南アジアでの受験者が前年より大きく増えている点！